
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)



岩井コスモホールディングス

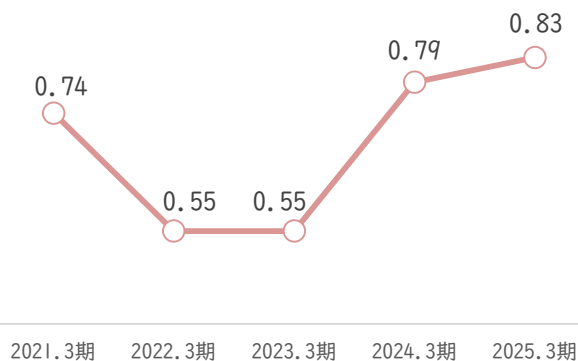
Iwai Cosmo Holdings, Inc. (証券コード : 8707)

2025年6月

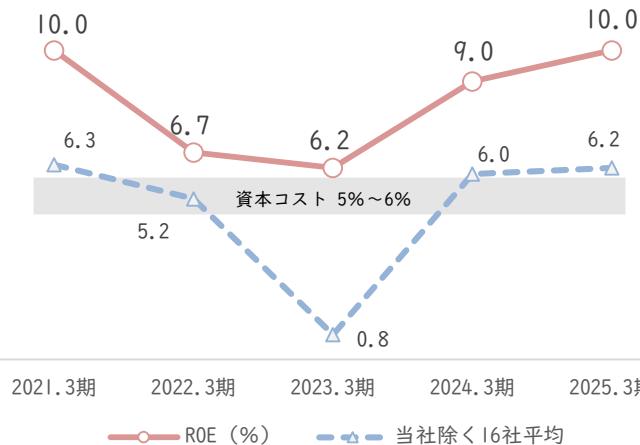
- 2025年3月期の営業収益や経常利益は過去最高、親会社株主に帰属する当期純利益は過去2番目の計上額
- 2025年3月期のROEは10.0%となり、業界平均（当社除く16社平均）6.2%、当社の株主資本コスト（5%～6%）を上回る
- 株価、PBRは上昇傾向にあるものの、PBRは1倍を下回る状況が継続している

	2021.3期	2022.3期	2023.3期	2024.3期	2025.3期
営業収益（百万円）	22,993	20,708	19,691	24,040	25,750
経常利益（百万円）	7,530	5,799	5,165	8,003	9,150
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	5,362	3,756	3,564	5,554	6,725
1株当たり当期純利益（円）	228.28	159.93	151.73	236.49	286.34
1株当たり純資産（円）	2,392.65	2,405.25	2,450.40	2,824.53	2,882.29
PBR＜株価純資産倍率＞（倍）	0.74	0.55	0.55	0.79	0.83
ROE＜自己資本利益率＞（%）	10.0	6.7	6.2	9.0	10.0
期末株価（円）	1,767	1,332	1,340	2,241	2,406

PBR



ROE



株価



■ 第6次中期経営計画に掲げる各施策の実現により、PBRおよびROEの向上（企業価値の向上）を図る

PBRの向上

（株価純資産倍率）

ROEの向上

（自己資本利益率）

第6次中期経営計画（2026.3期～2028.3期）

(https://www.iwaicosmo-hd.jp/ir/pdf/midplan_202603_202803.pdf)

収益性改善

- ・お客様の運用目的や市況に応じた提案営業
- ・米国株式の残高拡大 ⇒ 「米国株のことなら岩井コスモ」の定着化
- ・IT技術を活用し「進化した対面営業」の推進
- ・社内プラットフォームの高度化による生産性向上、業務効率化
- ・適切なコスト管理と見直し

資本効率改善

- ・株主還元の充実
⇒ 株主還元方針の見直し
- ・余剰資産の売却による資本効率の適正化
- ・余剰現金の有効活用

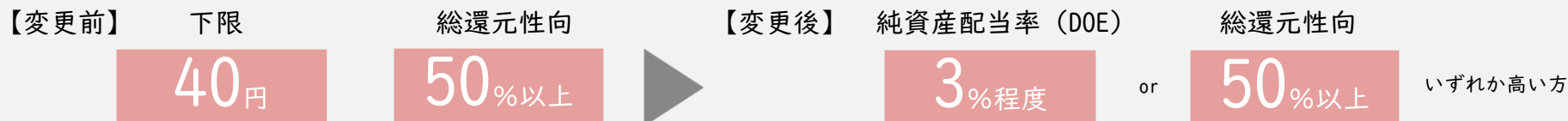
成長期待・非財務施策

- ・年2回の機関投資家との対話の充実
- ・サステナビリティ、人的資本投資への取り組み
- ・機関投資家との対話の社内フィードバック強化
- ・積極的なIRの実施

安定的な配当の継続を重視したうえで、業績に応じた利益の還元を実施

■ 2025年3月期の年間配当は、過去最高となる145円（前期比+25円）

■ 2025年4月に第6次中期経営計画期間中（2026年3月期～2028年3月期）の配当方針を発表

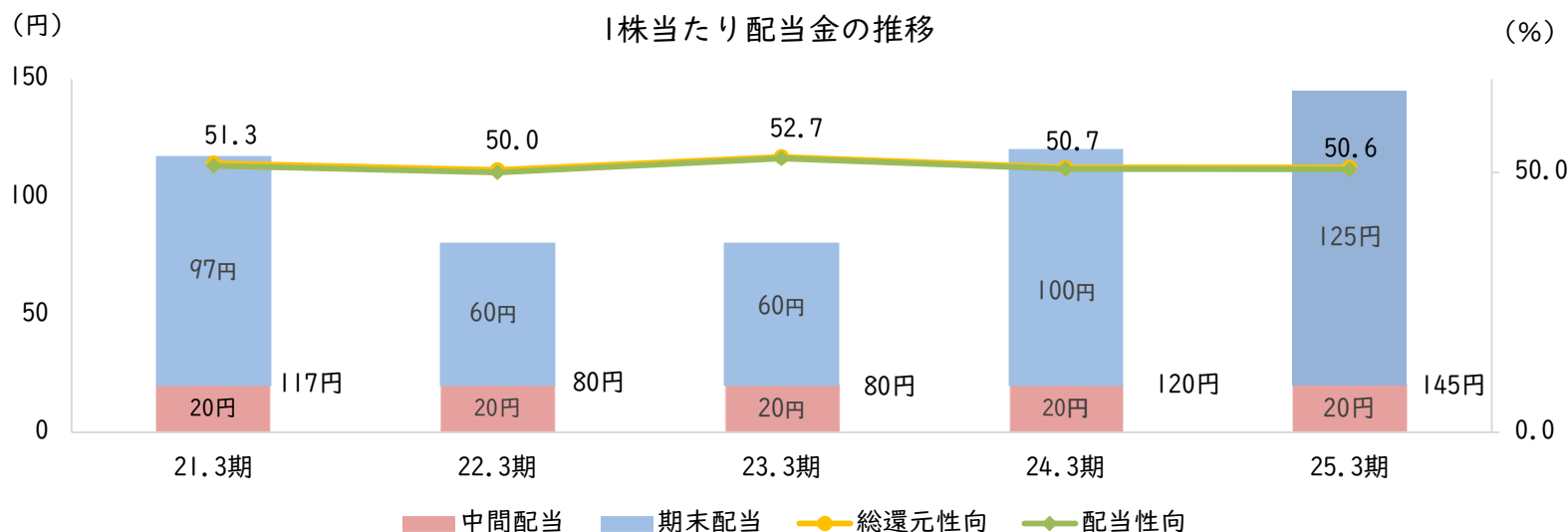


中間配当と期末配当の偏りを抑え平準化を図る

- ・ 中間 D0E2%程度
- ・ 期末 D0E1%程度 + 業績連動

※2025年3月期のD0E3%は85円。

配当の下限（D0E採用時）が大幅アップ！





岩井コスモホールディングス Iwai Cosmo Holdings, Inc.

本資料に記載されている情報は、作成時点のものであり、将来の業績や見通しを保証するものではありません。
また、今後予告なしに変更されることがあります。
本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましては、その責を負いかねますのでご了承ください。
なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写・複製、または転送等を行わないようお願い致します。